



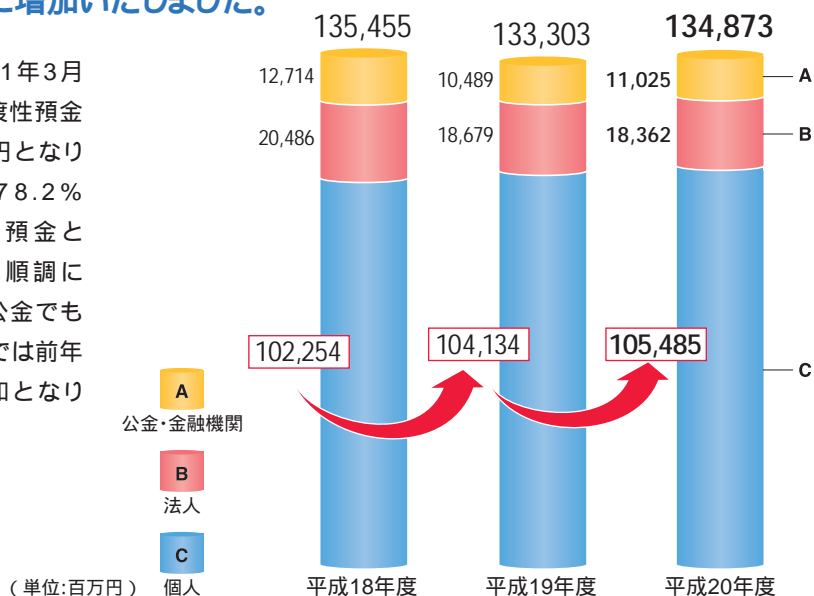
業績ハイライト

高額な不良債権処理を行った結果、2期連続の赤字決算となりましたが、これら进行处理してなお100億円を超える自己資本を有しており、依然として国内基準の4倍を超える高水準の自己資本比率(16.45%)を有し、財務体力は万全です。

預金積金残高

個人のお客さまからのご支持をいただき、個人預金が順調に増加いたしました。

平成20年度(平成21年3月末)の総預金残高(譲渡性預金を含む)は1,348億円となりました。預金量のうち78.2%が個人のお客さまの預金となっており、今年度も順調に増加したことに加え、公金でも増加したことから総体では前年対比15.7億円の増加となりました。

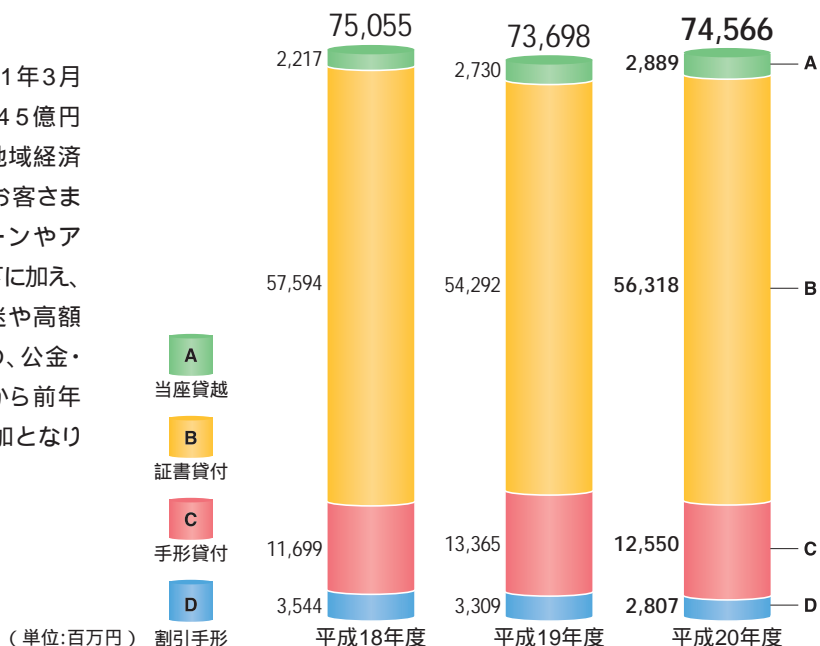


業績ハイライト

貸出金残高

公金・金融機関の需要を背景に増加しました。

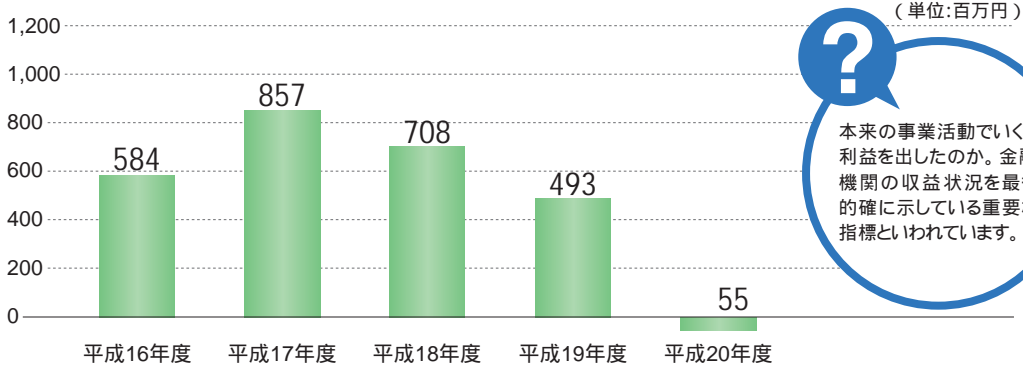
平成20年度(平成21年3月末)の総貸出残高は745億円となりました。厳しい地域経済の影響を受け、個人のお客さまを中心とした住宅ローンやアパートローンの需要低下に加え、企業の資金需要の低迷や高額な償却があったものの、公金・金融機関の需要増加から前年対比868百万円の増加となりました。



業績ハイライト

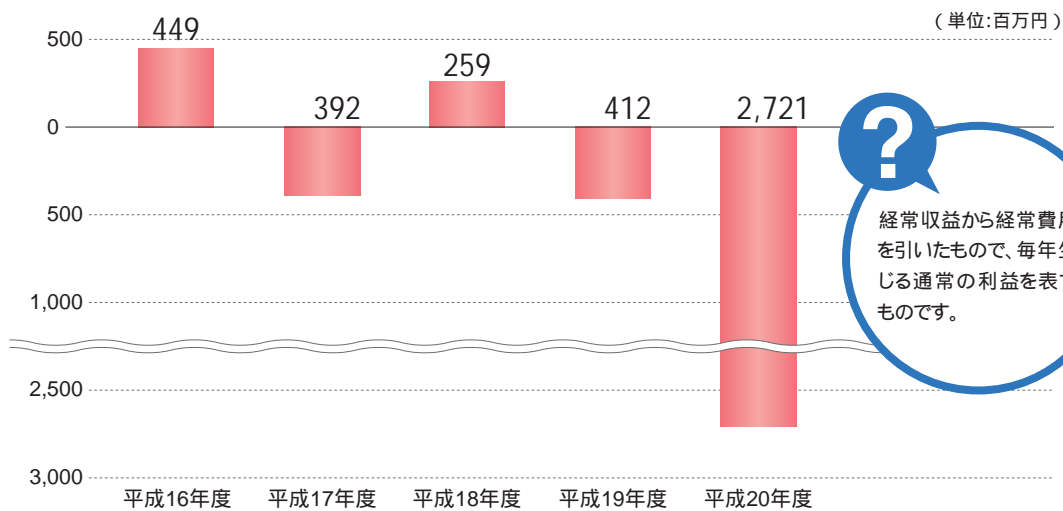
業務純益

一般貸倒引当金の繰入額増加や有価証券の減損処理等により業務純益はマイナスとなりました。



経常利益

多額の貸出金償却や個別貸倒引当金繰入により、2,721百万円の経常損失となりました。



当期純利益

高額の赤字決算となりましたが、これまで以上に厳格なリスク管理の徹底により、21年度以降は黒字転換を図ります。

